

セミナー通信

—教育実習総合センター—



11月12日に多可町立松井小学校で開催された「第30回東北播磨地区小学校国語教育研究大会多可大会」にP2生25名が参加しました。

研究主題「読むことを通して、確かなことばの力を身につける『活用』の授業」児童の思考を深める教師の出場(でば)のもと、児童数187名の活気溢れる学びの姿から多くのことを学ぶことができました。



教職大学院生 研究会に参加!

★公開授業参観から学んだこと (院生の感想より)

・松井つ子タイムは、音読に圧倒され、集中力に驚きました。鍛えられているというのが率直な感想で学級単位でなく学校全体での取組があつての成果だと感じました。

・児童一人一人の学びを上手く引き出している授業は、大変参考になり、目指すべき国語科の授業だと感じました。

・国語の授業が始まるとさらにその授業に引き込まれました。

・教師が見通しをどこに置くか、かかである方法に



も向かうことがわかりました。また、子どもが発言しやすい環境ができていたと感じました。

・「二人学びのプリント」を読み込んでおられるからこそできる切り返し発問でどんな時でも冷静に対応されている姿を見て教材研究、準備の深さを感じました。

・構造的な板書がとても見やすく、理解しやすかったです。

★研究発表から学んだこと

・松井小学校の実践は、「習得・活用型単元づくり」を目指して実践されており、その型が明確で先生方で共有されていることが良くわかりました。また、「教師の出場」についても指導案にわかりやすく記されており、後でふり返ったり、児童の様子を見たりする時の指標になっていました。その指導が児童の成果物にも反映されており、どれもレベルの高いものになっていました。

・体育館に掲示されている実践記録の中で特に印象に残っているのは、「一人学び」のプリントです。児童が細かく自分の言葉で書き記しており、先生が丁寧に赤ペンでコメントを入れている様子、毎時間の学習を目に見える形で残していくことの大切さを実感しました。

★講演「今、求められる国語科の授業のすがた」から学んだこと

・本学大学院教授藤見健史先生の講演を通して、教師として時代に求められる国語力を子どもに身につけさせることの重要性和その責任の大きさを学びました。社会の変化により知識を詰め込むだけでなく、方法知を学ぶための思考力・表現力・判断力からなる単元デザインにこだわった授業の大

切さも学ぶことができました。

・授業の根拠となる講演を聞いたことで授業内容と繋げて考えることができ、より深い学びとなりました。難しいが、重要なことだとわかりました。今後、国語に限らず、授業をつくる際に逆向き設計論を用いて考え、単元を通して学んだことを活用できる場を設けたいです。

◆続教師力向上講座



第3回目は、西宮市立立槌ノ口小学校 教諭小野あい子先生から「外国語教育の現状とこれから」と題して、外国語活動における学級担任の役割、基本的な授業の流れ、授業作りで気をつけること等、お話やゲームを入れながら楽しく学びました。

P3生の感想より

・アクティビティを実際にやってみていろいろな学習の仕方があるということを知りました。

・英語を通して何を学ぶのか、教員は何を教えるのかを考えるきっかけになりました。

・外国語活動は、体験が主になるため実際に子どもがきちんと理解しているのか分からない部分があると思います。それをどう把握し、着実な理解につなげるのが私の課題です。



第4回目は、小野市立市場小学校主幹 教諭の藤井潤先生から「書く力を育てる『ふきだし法』」を活用した思考過程の可視化について、ふきだし法を取り入れた授業モデルを示した後、実際に、5年「単位量あたりの大きさ」の授業をしました。

P3生の感想より

・実践に即した講義で、実際の子ども様子などが見え、イメージを持ちながら「ふきだし法」についてとても良い学びになりました。一つの指導の手立てとして子どもの持つ見えないものを見えるようになったりする良い方法だと考えました。

・「ふきだし法」を用いることによつて、思考の過程を可視化し、教師の指名の際に用いたり、どこがわかっていないのかを明確にしたりするという役割もあることを学んだ。

・子どもが「何ができないのか」をメタ認知できる有効な方法であると感じました。自分の研究と結びつけたいと思いい、非常に参考になりました。

「ふきだし法」の特徴

- ① 「ふきだし」の持つ行動誘発性
- ② 書く作業の重視と活性化「つぶやき」の言語化(考える力は書くことによって育つ)
- ③ 肯定的なメタ認知(自分の思考過程を自覚させること・自己内対話)
- ④ 学び合い、ピア・ラーニング(友だちとの関わり合いの中で学ぶ)

実習校訪問

お世話になっています

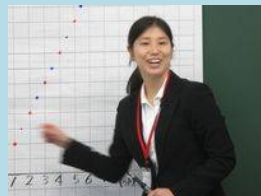
P2



吉見健太郎さん



藤原健太郎さん



山先はるなさん



横田昇太郎さん



藤村湖春さん



三好雅也さん



小河竜馬さん



濱 暢子さん



渡邊恭弘さん

実習校訪問は、次号でも順次掲載していきます。

II 編集後記 II

セミナー通信も今年の最終号。本年も学校現場に関する情報、教員採用試験に関する情報、セミナーに関する情報等、多くの方のご協力、ご支援を得ながら発行して参りました。今年のご愛読ありがとうございます。来年もみなさんのご期待に応えられるセミナー通信を目指して参ります。くれぐれもご自愛のほど、よいお年をお迎えください。